

# 福島イノベーション・コースト構想（地域復興実用化開発等促進事業）

平成28年度予算額 69.7億円（新規）【復興】

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 福島県浜通り地域において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を整備していくことが必要です。
- 今後、福島第一原発の廃炉や被災地域の復興を円滑に進めていくため、その周辺地域において、ロボット技術をはじめエネルギーや農業など多岐にわたる分野の研究開発が実施されることとなりますが、このような先端課題の解決に向けて開発された技術や人材が福島県浜通り地域の産業復興を支える新技術や新産業創出の原動力となることが期待されています。
- そのため、福島県浜通り地域において、イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進し、福島県浜通り地域の早期の産業復興を実現すべく、
  - ①福島県浜通り地域において実施される実用化開発等
  - ②国際産学官共同利用施設への入居による実用化開発等などの費用を支援します。

### 成果目標

- 2020年(平成32年)オリンピック・パラリンピック東京大会までを当面の目標に、福島県浜通り地域に先端的な産業の集積を創出します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 地域復興実用化開発等促進事業イメージ

ロボット技術等イノベーション・コースト構想の重点分野（\*）について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助します。

\* 廃炉、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産業等の分野を言います。

### 【支援対象となる実用化開発等】

- ①福島県浜通り地域において実施される実用化開発等
  - 地元企業等  
補助率 大企業1/2、中小企業2/3
  - 地元企業等と連携して実施する企業  
補助率 大企業1/2、中小企業2/3
- ②国際産学官共同利用施設への入居による実用化開発等  
補助率 大企業1/2、中小企業2/3



共同利用施設イメージ図